



# 羽田ミヤコタナゴ通信

## 通信

今年の1月頃から、『新型コロナウイルス』による感染が国外で猛威を振るい出した事が報じられ始め、瞬間に全世界へと拡散していき、今だに猛威を振っています。その影響で、私たちの生活も大きく変化し、栃木県内の多くの学校も3月から5月末までの約3ヶ月間臨時休校となり、今までの生活様式と大きく変わっている時期でもあります。

羽田のミヤコタナゴ再導入プロジェクトも新型コロナウイルスの影響を大きく受けています。今年の2月に開催が予定されていた『ミヤコタナゴ保護増殖検討会』が中止になり、今までの取り組み事項の評価や、今後の計画等について情報等を共有する機会がなくなりました。また、3月に予定していました馬頭高校生の実習を兼ねたミヤコタナゴの産卵母貝となる二枚貝の全数調査や、水路補修等の作業も中止となりました。その後、政府による緊急事態宣言が発令され、5月末まで協議会関係者による活動が、事実上出来なくなり、事業が一時停止した状態になっていました。

『東京オリンピック・パラリンピックの開催までには、何とかミヤコタナゴを水路へ再導入しよう。そして多くの方々に日本の農村文化のすばらしさを体感してもらおう』との思いで取り組んできましたが、新型コロナウイルスの影響で東京オリンピック・パラリンピックも延期され、現実的な計画を立てて物事を進めることが難しいのも事実です。そんな中、羽田についても今年度、最終目的を再度設定し取り組んでいこうという話も聞かれ、それに向けて関係者が一体となって事業を進めていきます。関係者が活動を行う際は、栃木県が示しています『新型コロナウイルス感染症対策』に準じ、感染拡大防止を徹底し、活動を推進していきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

例年7月に発行しています本通信につきましても、3ヶ月遅れでの発行となっております。作成期間の都合により、本通信内の記載が未来型で記載されている内容もありますが、ご了承いただきますようお願いいたします。結果につきましては、次回の通信で報告させていただきます。

## トピック

- 1 羽田沼～過去の記録より～ その1
- 2 今年度の活動について
- 3 今年度から本格始動します!!

発行元：羽田ミヤコタナゴ再導入に向けた協議会  
発行事務局：農村環境クリエト



ありし日の長者ヶ池  
～ 羽田郷土誌より ～